

# 図書館

SPARC/JAPANと大学図書館

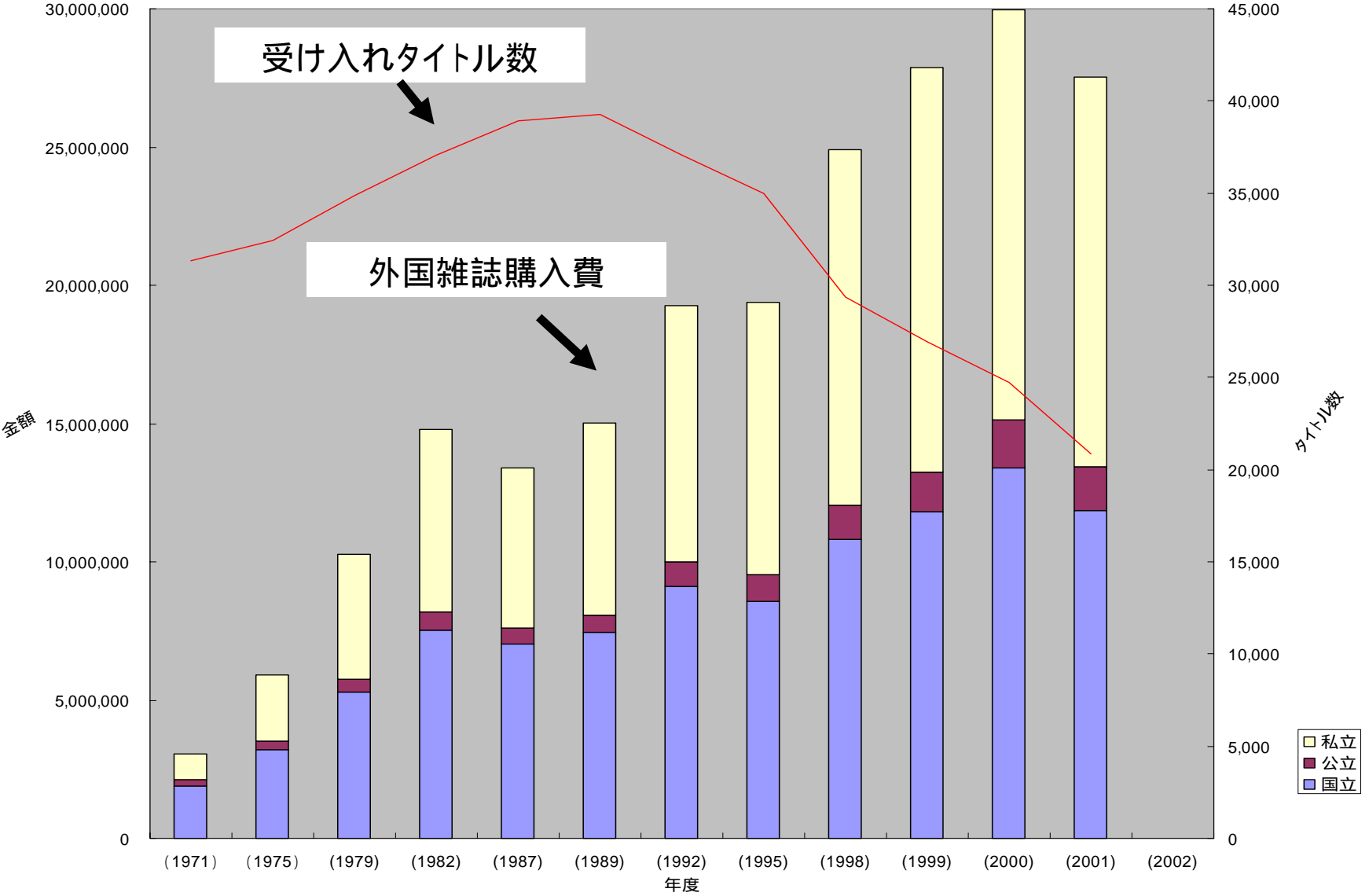
土屋俊(千葉大学)

- the Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition(1998, **Association of Research Libraries** (ARL))
- いくつかのキーワード
  - “Serials Crisis”
  - Returning science to scientists
  - Community controlled science journals
  - Institutional repository
  - Open access

単位:千円

### 日本国内図書館の外国雑誌購入費および受け入れタイトル数

但し1982年度までは和雑誌も含む



- 学術雑誌価格の高騰(“Serials Crisis”1980年代から)
  - (世界的に) 論文量の増加(タイトル2倍、タイトル当論文数1.6倍)
  - (世界的に) 商業出版社の寡占化と市場(価格)制御
  - (日本の場合)(外国為替の要素はあるが)これまで学会も図書館(大学)もほとんど無力(補助金依存・代理店依存)
  - (日本の場合)外国出版社による国内学会の「買収」
- 電子ジャーナル状況の展開
  - (世界的に)1998年くらいから本格化
    - 高騰は止められない、アーカイブの不安、“Big deal”論争
  - (日本の場合)遅れたが一応の対応
    - 国立大学コンソーシアム、文部科学省予算化(お買い物だけ?)

- **短期的な節約の機会を提供し、長期的な解決を奨励する。**
  - 価格の上昇率に歯止めをかける
  - 出版に於ける競争を育む
  - 非営利部門の権限の拡大
  - 変化の触媒となる
- **学者と図書館に情報を与える**
  - 価格決定を公表
  - 問題 / 解決の検証を促す
  - 学者の行動を促す

# 教育と活動の橋渡し

## 提唱

意識を高める

活動に選択の  
幅を持たせる

成功例を示す

## 出版企画

編集者、  
学術団体、  
大学を支援

権限の創設

起業リスクの  
軽減

## 目的: 新規参入者を支援



Journal of  
Insect Science

[www.insectscience.org](http://www.insectscience.org)



[www.BioOne.org](http://www.BioOne.org)

### 大学企画

- アリゾナ大学: *J. Insect Science*
- ビールフェルド大学: *Documenta Mathematica*
- カリフォルニア大学:  
*eScholarship*
- コロンビア大学: *Earthscape*
- コーネル大学/デュークプレス:  
*Project Euclid*
- ワーウィック大学: *Geometry & Topology Publications*

### 独立企画

- *Evolutionary Ecology Research*
- *Internet Journal of Chemistry*

### 混成タイプ

- *BioOne*

## 2000 ISI 学術誌引用報告

“Organic Chemistry”

(100件以上の記事を載せる学術誌)

順位	学術誌	影響力
1	<i>J. Organic Chemistry</i> (ACS)	
2	<b><i>Organic Letters</i></b> (ACS)	<b>3.367</b>
		
14	<i>Tetrahedron Letters</i>	2.558



2000年 9月	電子ジャーナルタスクフォース設立 出版社との直接交渉を原則
2001年 8月 (9/11直前)	米国SPARCからの呼びかけ 国際学術コミュニケーションへの取り組み
2001年10月	理事会でSPARC紹介、原則賛成
2002年 3月	文部科学省情報科学技術委員会「根岸 ワーキンググループ」における検討、報 告書への反映 日本の学会誌の状況について (図書館として)初めて認識

# 「学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)」

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会情報科学技術委員会  
デジタル研究情報基盤ワーキング・グループ(平成14年3月12日)

(文部科学省ホーム>審議会情報>科学技術・学術審議会>研究計画・評価分科会>[答申])

## 学術情報の円滑な流通を図るための当面の具体的方策

- (1) 電子ジャーナル等の体系的な収集  
国立大学予算、私立大学助成
- (2) 大学等からの学術情報発信機能の強化  
機関レポジトリ、学会レポジトリ(NII, SPARC)
- (3) 学協会からの学術情報発信機能の強化  
ジャーナル電子化(NII, SPARC)
- (4) 学術情報の海外への流通を支援する仕組み  
ビジネスモデル(NII, SPARC)

世界的に認知される学術雑誌を育成するため、既に国際的に高い評価を受けている学術雑誌及び政策的に推進している新領域の学術雑誌を重点的に支援し、電子出版化及び国際化の推進を図る。

国立情報学研究所は、大学図書館等と連携して、アメリカやヨーロッパのSPARCと呼ばれる取組と連携するなど、これらの学術雑誌を中心として日本から発信する学術情報の国際的な流通を促進するための方策を行う。

- アメリカSPARC1998年出発に起因する問題点
  - 基本的にはPrintの発想が中心
  - Haank体制化以前のElsevierをターゲット
  - 電子ジャーナルビジネスに無知
- 日本の場合には、電子ジャーナル化とSPARC化がセット
  - 電子ジャーナル導入体制が2001年以降に展開
  - 図書館側にノウハウが蓄積
- ポータル機能(ナビゲーション)の重要性の認識
- アーカイブ機能の重要性の認識

- OPEN ACCESSの二つの概念 (Harnad)
  - Open publishing
  - Open access self-archiving
    - 個人
    - 機関
- 権利処理上の問題点
  - 「筑波大学電子図書館の悲劇」を繰り返さないために
  - Exclusive licensingと権利譲渡
    - Non-exclusive licensing
- 大学とは何か？